

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

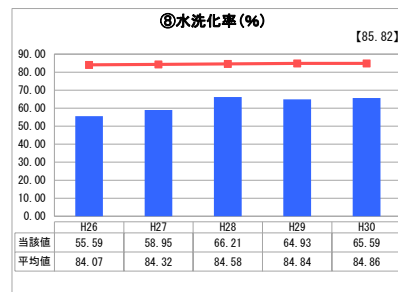
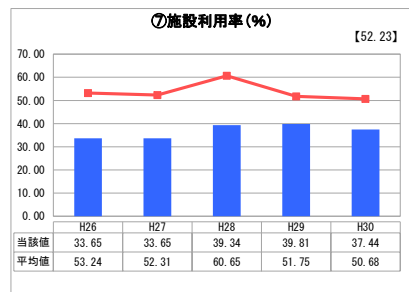
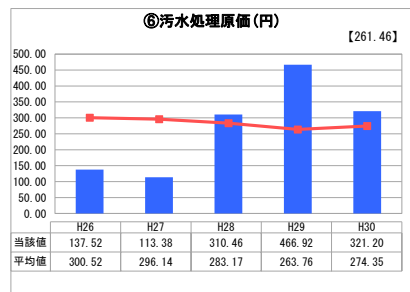
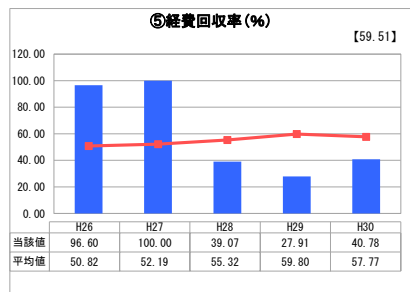
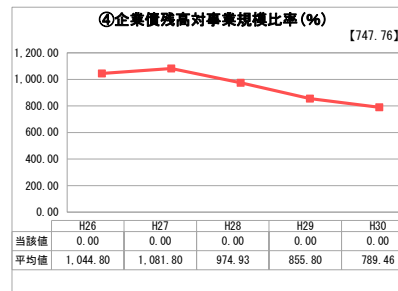
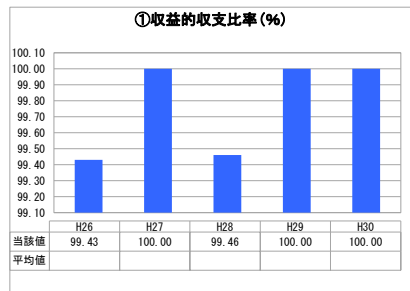
香川県 土庄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.45	94.13	2,990

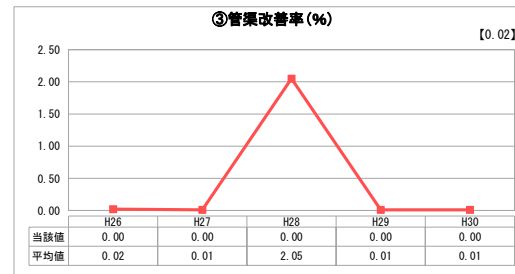
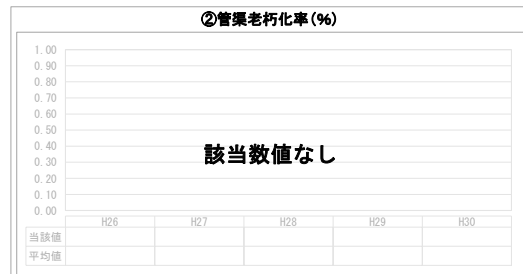
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,964	74.38	187.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
340	0.23	1,478.26

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度の経費回収率は、40.78%であり平成29年度と比較すると上昇したものの、他団体の平均値と比較しても依然として回収率は低い状態にある。その理由として、施設の修繕、汚泥等の処理費用や水質等の管理の委託料の費用がかかっているが、それらの費用を補うだけの施設使用料の料金設定ではないからである。

また、40.78%が経費回収率であり、その残りの59.22%の補てんは、一般会計からの繰入をして事業運営しており、農業集落排水施設の使用料の改定は避けられない状態にある。

住民説明会等を行い農業集落排水施設の現状を使用者に周知し、使用料の改定に繋げていきたい。使用料改定には、少子高齢化社会の影響で処理区域内人口も減少することも予測されるため、そのことも加味し、今後使用料改定に向けて尽力していきたい。

### 2. 老朽化の状況について

平成29年度に最適整備構想を作成し、その結果を踏まえ、計画的に施設修繕を行っていく。

大規模修繕が必要な部分(マンホールや調整槽等の防食修繕など)については、機能強化(国庫補助)事業等を活用し、改修を行っていきたい。

また、施設の重要な機器(ポンプやブロワー等の電気設備)については、点検を行い修繕を行っていく。

### 全体総括

使用料の改定については、地元住民との協議の中で改定に向け尽力していく。

また、使用料の改定だけでなく施設の維持管理委託費等についてもできるだけ抑えるような方向で検討していくとともに、令和2年度に策定予定の経営戦略を基として、健全な運営を行っていかれるよう実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。